



# 連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行

釧路市連合町内会

〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地

釧路市役所内

電話 0154-31-4255

直通電話・Fax 0154-23-2101



連町ホームページ

連町ブログ

## ＝第23回＝ 一 腰椎・頸椎狭窄症治療情報一

### ドクター磯部の 処方箋



釧路労災病院  
脳神経外科部長  
磯部 正則

以前（番外編）も書いても治せる脊髄神経疾患」として、掲載されましたが、このところ、連続して、腰椎／頸椎狭窄症治療の手術を行っております。

（以前の掲載内容）

①腰部脊柱管狭窄症、ヘルニア②頸椎症③良性脊髄腫瘍

これらは脊髄・脊髄神経が圧迫されて手や下肢のしびれ痛み運動麻痺症状を呈します。脊髄が傷んでいなければ、手術で圧迫を解除して治る、治せる疾患です。

今回、手術治療が増えている①②について、改めて説明・解説してみます。

人間、首々背中々腰まで、背骨（脊椎、脊柱）があり、その機能は、主に3つで、体を支える、柔軟性がある。そして大事な脊髄という神経が通っています。脊髄神経が通っている管状の部分（椎管）と呼びます。椎管の太さ広さは脊髄神経よりもわずかしりかたく広くないので、椎管が細く狭くなると、脊髄が圧迫されてしまいます。圧迫が強まると、しびれ痛み運動麻痺などの神経不調症状が生じます。

手術は、細く狭くなった椎管を広げて、脊髄神経の圧迫を解除するものです。除圧術です。その方法は

狭窄の原因である、骨棘の切除、肥厚した黄色靭帯の除去、神経側に突出した椎間板（椎間板ヘルニア）の切除です。腰部脊柱管狭窄症では、後方から手術して椎弓も切除しますが、背骨の本体である椎体は触りませんが、背骨の機能に影響ありません。頸部の狭窄症は、頸部脊柱管狭窄症とは言わず、頸椎症、頸椎ヘルニア、後縦靭帯骨化症などと呼ばれますが、腰部と同じく後方除圧術の他、前方からの除圧術、骨棘・ヘルニア椎間板除去術（+固定術）も行います。

神経除圧術は、問題なく予定通り良好に除圧できた場合でも（できることが普通）、症状の改善に關しては、完治できた、ほとんどくかなり良くなったことが多いものの、そこまです改善しなかった、あまり改善しなかった、に終わることもあります。理由は、神経がすでに傷んでいた場合（一度傷んだ神経は治らないことがありますが）、症状の原因が除圧手術をしたところ以外にあることが、考えられます。背骨脊髄の他の部位のこともありますが、多くは背骨脊髄でなくて、腕・手、脚・膝・足に症状の原因がある場合です。

なお、脊柱管狭窄症の原因ですが、長年の首、腰への負担が考えられ、加齢とともに増加します。